

数 学

高2で金メダル 今も続く代表らとの交流

私が数学オリンピックに興味を持ったのは、中学2年生の時、数学オリンピックに向けて頑張っている先輩から、面白い問題などを教えてもらったことがきっかけでした。

元々、数学の問題を解くことが好きなこともあり、競技数学にはまっていきましました。同じく競技数学が好きな先輩ができたのも大きな動機の一つでした。

中学2年生の時、日本ジュニア数学オリンピック(JJMCO)で銅賞を受賞しました。単純にうれしく、まさか入賞できるなんてという驚きもありましたが、国際数学オリンピック(IMO)代表選考会宿に参加できる資格の銀賞

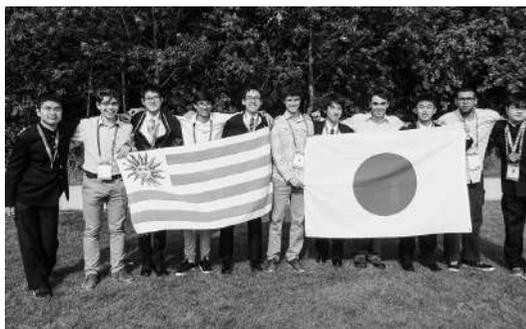
が、手の届く範囲だったことに加え、先輩が銀賞を獲得したことが悔しく感じられました。

高校1年生の時に、初めて夏季セミナーに参加しました。セミナーでは対称群の表現論の本を読みました。当時の自分にとっては随分背伸びした本で、苦戦しつつもチューターの皆さんや同じ班の人に大いに助けられながら読み進めました。実績を上げている方々に実際に囲まれたことは良い刺激になりました。

その年、日本数学オリンピック(JMCO)に入賞しました。



初めて参加した代表選考会宿では、ライバルたちがどのような難問であってもガッツと取り組んでいるのを見て圧倒されました。その年は、代表になれませんでした。その年の刺激を受けました。



ウルグアイの選手と記念撮影。海外の選手と交流しながらIMOを楽しんだ

そして高校2年生の時に、IMO日本代表に選ばれました。IMOはイギリスのバースで行われ、金メダルを受賞することができました。写真上。バースの歴史ある街並みを回ったり、海外の選手とカードゲームで遊んだりしてIMOを大いに楽しみました。大学4年生となった今でも、数学オリンピックを通じて知り合った人とながっています。例えば、去年は日本代表経験者を中心とした4人で、本の翻訳をして出版しました。また、今は表現論を中心に勉強していますが、これは夏季セミナーで読んだ本の分野で、直接ではないですが影響はあったと思います。数学オリンピックと私は、切っても切り離せないものだと感じています。

(兒玉太陽・京都大学理学部4年、第60回国際数学オリンピックイギリス大会・金メダリスト)